



# 平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月7日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 SRAホールディングス  
 コード番号 3817 URL <http://www.sra-hd.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鹿島 亨

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部財務部長 (氏名) 北井 誠

TEL 03-5979-2666

四半期報告書提出予定日 平成25年11月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	16,321	7.6	966	7.4	1,193	24.6	664	30.1
25年3月期第2四半期	15,165	△4.6	899	10.6	957	8.0	511	△15.8

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 654百万円 (113.0%) 25年3月期第2四半期 307百万円 (△39.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	50.61	50.33
25年3月期第2四半期	38.91	38.90

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	28,551	17,425	60.9
25年3月期	28,133	17,359	61.6

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 17,382百万円 25年3月期 17,319百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	45.00	45.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,900	8.5	2,900	19.0	3,000	4.0	1,860	10.6	141.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	15,240,000 株	25年3月期	15,240,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	2,101,724 株	25年3月期	2,101,709 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	13,138,287 株	25年3月期2Q	13,138,343 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	11
4. 補足情報	12
(1) 生産、受注及び販売の状況	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年9月30日まで)におけるわが国経済は、個人消費と輸出の持ち直しや生産の増加等で企業収益は製造業を中心に改善し、景気は持ち直しからさらに回復へと転じつつあります。

情報サービス業界においても、メガバンクのシステム統合需要や証券業界の制度案件需要(NISA「小額投資非課税制度」)等によりIT投資は回復基調で推移すると思われませんが、足元の受注環境については、競争激化により厳しい状況が継続しました。

このような事業環境のもと、当社グループは、中期経営計画の3年目として、引き続き『**既存事業の構造改革推進**』と中長期成長戦略である『**自社IP製品ビジネス×海外ビジネス**』について、以下のような具体的施策を推進しました。

#### ■『既存事業の構造改革推進』

「営業強化による受注・売上拡大」としては、提案型営業による案件の創出と案件・受注管理体制の強化等に取り組んだ結果、株式会社A I T、株式会社ソフトウェア・サイエンス等の売上高が増加しました。

また、「収益性の高い生産体制の構築」については、引き続き生産間接費の適正化を推進しました。

#### ■『自社IP製品ビジネス×海外ビジネス』

自社IP製品ビジネスを成長市場である中国・インド・ASEAN等に展開するという中長期成長戦略のさらなる推進を目的に、Proxim Wireless CorporationとKingnetに対し追加の事業投資を実施しました。

また、国内の自社IP製品ビジネスについても、文教ソリューション(UniVision)、メールアーカイブ製品(MailDepot)、デジタルコンテンツサービス(BELEGA-DC)、ECサイト構築サービス(BELEGA-EC)等の拡販に注力しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の連結業績は次のとおりとなりました。

売上高については、開発事業、運用・構築事業、販売事業の3事業全てが増加した結果、16,321百万円(前年同期比7.6%増)となりました。

損益面においては、営業利益は売上増に伴う売上総利益の増加により966百万円(前年同期比7.4%増)となり、経常利益は為替差益等により1,193百万円(前年同期比24.6%増)、四半期純利益は664百万円(前年同期比30.1%増)となりました。

第1四半期連結累計期間において特別損失に計上した投資有価証券評価損については、株価の回復により、当第2四半期連結累計期間においては計上する必要がなくなりました。

なお、当社は、四半期における投資有価証券の減損処理については洗い替え方式を採用しているため、第3四半期連結会計期間末または連結会計年度末の投資有価証券の時価によっては、投資有価証券評価損を特別損失に計上する可能性があります。

以上のとおり、当第2四半期連結累計期間の連結業績は、前年同期に比べて増収増益となり、第2四半期連結業績予想に対しては、売上高はほぼ同じ水準を確保し、経常利益は上回ることができました。

当第2四半期連結累計期間の事業別の営業の状況は以下のとおりです。

#### ●開発事業

開発事業は、電力向けが減少したものの、銀行・証券、損保向けが増加した結果、当事業の売上高は、8,478百万円(前年同期比7.6%増)となりました。

#### ●運用・構築事業

運用・構築事業は、大学関連が減少しましたが、企業向けが増加し、当事業の売上高は1,718百万円(前年同期比2.8%増)となりました。

#### ●販売事業

販売事業は、株式会社A I Tが金融分野および医療分野を中心に好調を持続したため、当事業の売上高は6,125百万円(前年同期比9.1%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

財政状態の状況

当第2四半期連結累計期間における資産合計は28,551百万円(前連結会計年度末比1.5%増)、負債合計は11,126百万円(同3.3%増)、純資産合計は17,425百万円(同0.4%増)となりました。前連結会計年度末と比べ増減した主な内容は、次のとおりです。

(資産合計)

請負開発の案件の増加等により、仕掛品が596百万円増加し1,608百万円となりました。また、機器販売の案件の増加等により、商品及び製品が382百万円増加し624百万円となりました。一方、売上債権の回収等により受取手形及び売掛金が705百万円減少し5,594百万円、債券の売却、償還等により投資有価証券が633百万円減少し6,504百万円となりました。

(負債合計)

仕入債務の増加等により買掛金が496百万円増加し2,944百万円、受託開発の工事損失引当金が165百万円増加し347百万円となりました。一方、法人税等の支払により未払法人税等が125百万円減少し398百万円となりました。

(純資産合計)

為替相場の影響により在外子会社の換算時に発生した為替換算調整勘定が209百万円増加し60百万円、利益剰余金が73百万円増加し12,863百万円となりました。一方、有価証券及び投資有価証券の時価評価により、その他有価証券評価差額金が220百万円減少し368百万円となりました。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ511百万円増加し、8,008百万円(前年同四半期比1,086百万円増)となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、855百万円(前年同四半期は1,053百万円の獲得)となりました。

これは、主に税金等調整前四半期当期純利益1,193百万円、売上債権の減少815百万円、仕入債務の増加472百万円等のプラス要因と、たな卸資産の増加974百万円、法人税等の支払678百万円等のマイナス要因によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果獲得した資金は、189百万円(同3,094百万円の使用)となりました。

これは、主に投資有価証券の売却による収入798百万円、関係会社の整理による収入82百万円等のプラス要因と、貸付による支出603百万円、定期預金の預入による支出80百万円等のマイナス要因によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、612百万円(同525百万円の使用)となりました。

これは、主に配当金の支払591百万円、短期借入金の純減額20百万円等のマイナス要因によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年5月9日に開示しております「平成25年3月期決算短信」の連結業績予想から変更ありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,197	7,789
受取手形及び売掛金	6,299	5,594
有価証券	1,002	505
商品及び製品	242	624
仕掛品	1,011	1,608
繰延税金資産	531	520
その他	1,222	1,597
貸倒引当金	△35	△32
流動資産合計	17,473	18,208
固定資産		
有形固定資産		
建物	349	326
減価償却累計額	△253	△230
建物(純額)	96	96
機械装置及び運搬具	569	557
減価償却累計額	△522	△509
機械装置及び運搬具(純額)	46	47
その他	119	111
減価償却累計額	△77	△69
その他(純額)	42	41
有形固定資産合計	184	186
無形固定資産		
その他	894	770
無形固定資産合計	894	770
投資その他の資産		
投資有価証券	7,137	6,504
繰延税金資産	1,049	1,209
差入保証金	402	401
その他	1,093	1,383
貸倒引当金	△14	△14
投資損失引当金	△87	△97
投資その他の資産合計	9,580	9,385
固定資産合計	10,660	10,342
資産合計	28,133	28,551

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,447	2,944
短期借入金	1,229	1,509
未払費用	590	513
未払法人税等	523	398
未払消費税等	241	133
賞与引当金	594	641
役員賞与引当金	50	31
工事損失引当金	181	347
資産除去債務	17	—
その他	807	816
流動負債合計	6,683	7,336
固定負債		
長期借入金	300	—
繰延税金負債	3	5
退職給付引当金	3,620	3,617
役員退職慰労引当金	165	149
その他	0	17
固定負債合計	4,090	3,789
負債合計	10,774	11,126
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000	1,000
資本剰余金	4,483	4,483
利益剰余金	12,789	12,863
自己株式	△1,393	△1,393
株主資本合計	16,879	16,953
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	588	368
為替換算調整勘定	△148	60
その他の包括利益累計額合計	439	429
新株予約権	39	42
純資産合計	17,359	17,425
負債純資産合計	28,133	28,551

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	15,165	16,321
売上原価	12,488	13,505
売上総利益	2,677	2,815
販売費及び一般管理費	1,777	1,849
営業利益	899	966
営業外収益		
受取利息	87	94
受取配当金	25	33
為替差益	—	51
その他	32	75
営業外収益合計	144	255
営業外費用		
支払利息	14	13
証券代行事務手数料	10	13
その他	61	0
営業外費用合計	86	27
経常利益	957	1,193
特別利益		
投資有価証券売却益	11	4
投資損失引当金戻入額	—	2
その他	0	0
特別利益合計	12	6
特別損失		
固定資産除却損	0	2
関係会社整理損	—	4
その他	0	0
特別損失合計	0	6
税金等調整前四半期純利益	969	1,193
法人税、住民税及び事業税	474	553
法人税等調整額	△16	△24
法人税等合計	458	528
少数株主損益調整前四半期純利益	511	664
四半期純利益	511	664



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	511	664
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△170	△220
為替換算調整勘定	△33	209
その他の包括利益合計	△203	△10
四半期包括利益	307	654
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	307	654
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	969	1,193
減価償却費	212	199
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△2	△4
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△1	△15
賞与引当金の増減額(△は減少)	6	47
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△24	△18
貸倒引当金の増減額(△は減少)	10	△1
投資損失引当金の増減額(△は減少)	—	△2
受取利息及び受取配当金	△112	△128
支払利息	14	13
投資有価証券評価損益(△は益)	0	—
投資有価証券売却損益(△は益)	△11	△4
固定資産売却損益(△は益)	△0	△0
固定資産除却損	0	2
売上債権の増減額(△は増加)	1,089	815
たな卸資産の増減額(△は増加)	△499	△974
仕入債務の増減額(△は減少)	△63	472
その他の負債の増減額(△は減少)	155	△120
未払消費税等の増減額(△は減少)	△128	△107
その他	65	77
小計	1,679	1,443
利息及び配当金の受取額	85	105
利息の支払額	△14	△14
法人税等の支払額	△697	△678
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,053	855
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△31	△12
有形固定資産の売却による収入	2	0
無形固定資産の取得による支出	△106	△41
投資有価証券の取得による支出	△664	△55
投資有価証券の売却による収入	520	798
関係会社の整理による収入	—	82
貸付けによる支出	△3,323	△603
貸付金の回収による収入	503	101
定期預金の預入による支出	—	△80
その他	6	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,094	189

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	△20
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△525	△591
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△525	△612
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6	77
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,574	511
現金及び現金同等物の期首残高	9,496	7,497
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,922	8,008

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	開発事業	運用・構築 事業	販売事業	計		
売上高						
(1)外部顧客への売上高	7,881	1,671	5,612	15,165	—	15,165
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	20	169	256	447	△447	—
計	7,902	1,841	5,869	15,612	△447	15,165
セグメント利益	910	306	294	1,511	△612	899

(注) 1. セグメント利益の調整額△612百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	開発事業	運用・構築 事業	販売事業	計		
売上高						
(1)外部顧客への売上高	8,478	1,718	6,125	16,321	—	16,321
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	15	136	229	381	△381	—
計	8,494	1,854	6,355	16,703	△381	16,321
セグメント利益	881	364	339	1,584	△618	966

(注) 1. セグメント利益の調整額△618百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

平成25年10月2日開催の当社子会社株式会社S R A取締役会において、株式会社S J Iが株式会社みずほ銀行より融資を受けた5億円に対して、債務保証を行うことを決議し、平成25年10月11日に債務保証契約を締結いたしました。なお、債務保証の期間は平成25年12月27日までであります。

#### 4. 補足情報

##### (1) 生産、受注及び販売の状況

###### ①生産実績

当第2四半期連結累計期間の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	前年同四半期比(%)
開発事業(百万円)	9,049	106.7
運用・構築事業(百万円)	1,733	102.1
合計(百万円)	10,782	105.9

- (注) 1. 金額は販売価格によっております。  
 2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。  
 3. セグメント間の取引については相殺処理しております。

###### ②仕入実績

当第2四半期連結累計期間の仕入実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	前年同四半期比(%)
販売事業(百万円)	4,313	120.9
合計(百万円)	4,313	120.9

- (注) 1. 金額は仕入価格によっております。  
 2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。  
 3. セグメント間の取引については相殺処理しております。

###### ③受注状況

当第2四半期連結累計期間の受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高 (百万円)	前年同四半期比 (%)	受注残高 (百万円)	前年同四半期比 (%)
開発事業	10,093	123.4	5,874	141.1
運用・構築事業	1,449	104.0	1,195	106.3
販売事業	6,945	132.3	4,026	126.3
合計	18,489	124.7	11,096	130.9

- (注) 1. 金額は販売価格によっております。  
 2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。  
 3. セグメント間の取引については相殺処理しております。

## ④販売実績

当第2四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	前年同四半期比(%)
開発事業(百万円)	8,478	107.6
運用・構築事業(百万円)	1,718	102.8
販売事業(百万円)	6,125	109.1
合計(百万円)	16,321	107.6

- (注) 1. 金額は販売価格によっております。  
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。  
3. セグメント間の取引については相殺処理しております。

以 上